

2025年3月3日



< 阪神電気鉄道開業120周年関連施策 >

急行用8000系車両を「赤胴車」のデザインに変更します

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）では、来る4月12日（土）に開業120周年を迎えるに当たり、急行用8000系車両を2015年以前の「赤胴車」のデザインに順次変更することを決定しました。

8000系車両は、1984年に「パーミリオン」と「クリーム」のツートンカラー、いわゆる「赤胴車」の愛称で親しまれるデザインで運行を開始しました。2001年度から2015年度にかけて実施したリニューアル工事で、当時の最新型9300系に合わせたデザインに変更し、現在に至ります。

2020年6月には、武庫川線で運行を続けていた7990・7890形が引退し、「赤胴車」は全廃となりました。その後、多くのお客様から「赤胴車」復活のご要望をいただいたことから、社内で検討を重ね、当社開業120周年関連施策の一環で、阪神電車の顔として皆様に親しまれた「赤胴車」のデザインに変更するものです。



「赤胴車」デザインの8000系車両



現在の8000系車両

- 対象車両 8000系（全19編成）
- 実施時期 2025年から3～4年をかけて順次施行
※第1編成：8215編成（2025年5月下旬頃運行開始予定）

〔ご参考〕 これまでの阪神電気鉄道開業120周年関連施策
(いずれも2024年10月10日リリース)

- ・ 記念ロゴマークの制定

<https://www.hanshin.co.jp/press/detail/004216.html>

- ・ ～阪神グループのブランド価値経営 & 開業120周年の合同ポスター企画～
「阪神“たいせつ”ストーリー」と「Hanshin 120th Gallery」がスタートします！

<https://www.hanshin.co.jp/press/detail/004217.html>

阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。



以 上